

# 過年度物件の現地調査等の流れ

ブロック塀・ブロック土留め（塀と一体）  
200件

擁壁・ブロック土留め（塀がない）  
200件

## 現地調査：200件

- 調査対象地の確認
- 撮影
- 現地調査シート（様式3）の修正

改善を確認：50件想定 ⇒ 現地調査結果の報告

### 未改善物件⇒訪問：50件

- ブロック塀等の改善について（様式1）を記入
- 訪問し、様式1+配布資料を用いて、改善に向けた働きかけを実施

### 未改善物件⇒資料配布：75件

- ブロック塀等の改善について（様式1）を記入
- 様式1+配布資料を投函

### 未改善物件⇒資料送付：25件

- ブロック塀等の改善について（様式1）を記入
- 様式1+配布資料を送付

## 現地調査：200件

- 調査対象地の確認
- 撮影
- 現地調査シート（様式3）の修正

改善を確認：若干想定 ⇒ 現地調査結果の報告

### 未改善物件⇒資料配布：175件

- 擁壁等の改善について（様式2）を記入
- 様式2+配布資料を投函

### 未改善物件⇒資料送付：25件

- 擁壁等の改善について（様式2）を記入
- 様式2+配布資料を送付

## 現地調査結果の報告：200件

※ 件数は概算  
※ 詳細は仕様書のとおり

現地調査結果の報告：200件

# 追加路線の現地調査等の流れ

ブロック塀・ブロック土留め  
339校の通学路の変更に伴う路線調査（1校あたり平均4km）



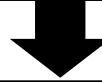
## ① 現地調査：339校の追加路線

- 調査対象路線の確認



## ② 改善の必要性があるブロック塀等の調査・資料投函

- 道路側から組積造の塀、コンクリートブロック塀及び土留めについて、改善の必要性の有無を確認
- 改善の必要性があると判断した場合は、配布資料2の投函（投函できる場合のみ）し、  
案件数及び資料投函数を計上



## ③ ②のうち地震時に倒壊の危険性があるブロック塀等（土留めのみを除く）の報告：2,000件を想定

- 地図へのプロット
- 写真撮影（全景）
- 現地調査シート（様式3）に調査結果を記入



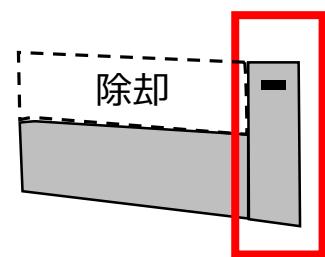
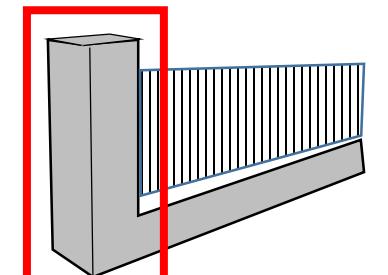
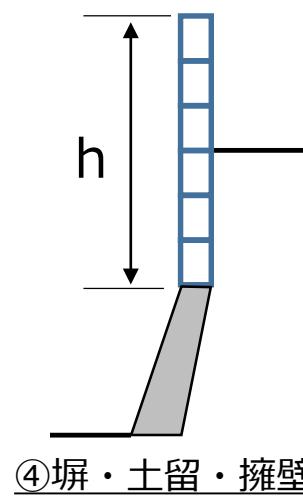
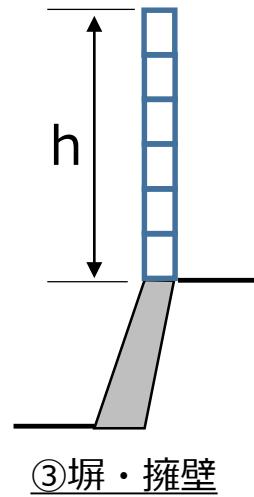
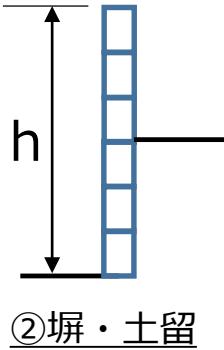
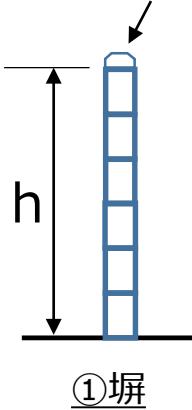
現地調査結果の報告（②の数、③の報告）：実数

## 追加路線調査（改善の必要性の有無の確認）

下記①～③の塀又は土留めについて、資料2を投函（投函できる場合のみ）

- ① 建築基準法施行令第61条（組積造の塀）又は第62条の8（補強コンクリートブロック造の塀）の仕様規定に適合しないもの
- ② 図1のh部分の道路面又は擁壁上部からの高さが1.2mを超え、かつ控壁又は基礎が無いもの
- ③ 図1のh部分の道路面又は擁壁上部からの高さが1.2mを超え、かつh部分に、ひび割れ又は傾きがあるもの

笠木は高さに含まない



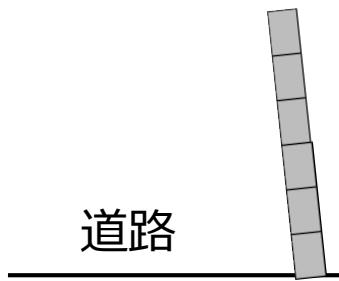
ポスト部分のみ未改善  
でも改善と扱う

## 追加路線調査（地震時に倒壊の危険性がある塀等）

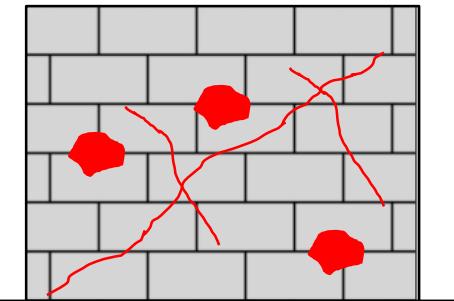
下記①～③の塀又は土留めについて、「既存ブロック塀等の耐震診断基準・耐震改修設計指針・同解説：（一財）日本建築防災協会発刊」「第1章 総則」を参考に、以下の塀等について報告書を作成

- ① 5°以上の傾きがあるもの
- ② 著しいひび割れ、ぐらつきがあるもの
- ③ 高さが2mを超えるもの

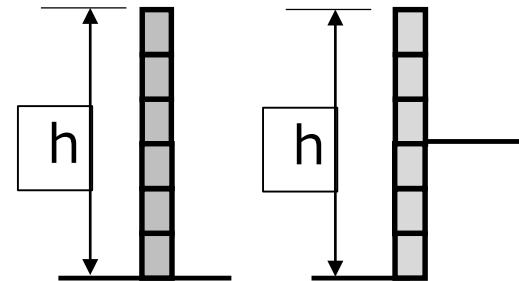
① 5°以上の傾き



② 著しいひび割れ



③  $h > 2\text{ m}$



例) 塀を横断する複数の  
ひび割れや壁体の欠け